

事故種類	労働災害	発生日時	平成29年1月17日 14時45分	事故当事者	2次下請け
事故区分	建設機械	年齢性別	53歳男性	職種	普通作業員
被災程度(全治)	右母指末節骨開放骨折、右母指先端部皮膚破損状態 (2月28日迄加療を要する見込み、休業日数0日)				
事故概要	トンネル内のくけい水路据付け完了後、重機オペレータが、吊金具が外れていると思い、バックホウのアームを引き上げたところ、吊金具が外れていない状態であったため、被災者がカブラーを持って取り外そうとした際に右手親指先端が吊金具のヘッドとハンガーの間に挟まれた。				
事故原因等	<ul style="list-style-type: none"> ・重機オペレータが合図者の合図無しで操作した。 ・玉掛者が実施すべき玉掛作業を無資格者(被災者)に指示し、金具の取り外し作業をさせた。 				
改善策等	<ol style="list-style-type: none"> ①くけい水路据付け後の合図で、手合図(グー・パー)を追加し、重機オペレータと合図者が合図の確認・意思確認を明確に行う。 ②有資格者のみで、玉掛け、据付作業を行う。 ③資格者、役割分担を明確にするため資格の可視化を実施し、元請け職員による「監視員」を配置して、各々の作業が適切にできているか確認する。 ④据付け後の玉外し作業は、吊金具での手指の挟まれを防止するためバックホウフック(玉元)側を先に取り外すよう周知、教育する。 ⑤オペレータの見やすいバックホウアームの内側と運転席に注意喚起標示(合図無しでの操作禁止)を明示する。 				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・合図方法の確立(手合図、声掛けの徹底) ・役割分担の明確化(作業従事者に有資格者、無資格者の作業内容を指導) 				

事故状況図



改善策

- ① くけい水路据付け後の合図で、手合図(グー・パー)を追加し、合図の確認・意思確認を明確に行う。
- ② 有資格者のみで、玉掛け、据付作業を行う。
- ③ 資格者、役割を明確にするため資格の可視化を実施し、元請け職員による「監視員」を配置して、各々の作業が適切にできているか確認する。



- ④ 据付け後の玉外し作業は、吊金具での手指の挟まれを防止するため、バックホウフック(玉元)側を先に取り外すよう周知、教育する。



バックホウフック(玉元)側を外してから、くけい水路の吊金具を取り外す。

- ⑤ オペレータの見やすいバックホウアームの内側と運転席に注意喚起標示を明示する。

